

# 会 長 あ い さ つ

沖縄県特別支援教育研究会  
会長 新垣 伸次

令和2年度を迎え、いよいよ小学校と特別支援学校小学部において、新学習指導要領による教育がスタートしましたが、新型コロナウイルス感染症による混乱の中で、日々教育活動にご尽力されている教職員の皆様には心より感謝申し上げます。

本研究会は、沖縄県の知的障害教育の振興を図るために、養護学校（現特別支援学校）及び小中学校における特殊学級（現特別支援学級）の相互の連携のもと、昭和40年6月に「沖縄県特殊教育研究会」として設立されました。その後、平成14年に名称を「沖縄県特別支援教育研究会」に変更しております。主な活動としましては、研修会及び研究大会の開催、研究集録の発行を行っており、研究大会の開催は、今年で49回目を迎える運びとなる予定でした。

しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、沖縄県特別支援教育研究会の事業計画にも変更点が出てきました。例年行われている研究大会の開催については、全日本特別支援教育研究連盟全国大会長崎大会（九州地区特別支援教育連盟研究大会併催）の中止を受け、評議員へのアンケートを集約し、事務局判断で中止といたしました。また、第1回・2回の評議員会、総会は書面審議とし、第3回評議員会は状況を見て判断することとしました。

近年、全国的に特別支援学校及び特別支援学級の知的障害・情緒障害教育部門における幼児児童生徒の在籍数は、増加傾向が続いています。また、通常学級における支援を要する幼児児童生徒や、高等学校における通級指導制度の導入もあり、特別支援教育のニーズは高まっています。

このような状況の中、新型コロナウイルス感染症への対応も加わり、現場の教職員の皆様には多大なご苦勞があると考えられます。まして、未来を担う子供たちの精神的・肉体的負担を考えると、私達に課せられた使命は大きいと思われます。

今こそ力を合わせてこの状況をのりきりましょう。

今後ともどうか皆様のご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。